

公益社団法人 日本水産学会
令和 7 年度第 2 回理事会議事録

1 開催された日時 令和 7 年 4 月 19 日（土）13 時 00 分～15 時 45 分

2 開催された場所 日本水産学会事務局（東京都港区港南 4-5-7）

3 理事総数及び定足数

総数 17 名、定足数 9 名

4 出席理事総数 16 名

（Web 会議システムによる出席）

東海 正、大越和加、征矢野 清、吉崎悟朗、河村知彦、片山知史、
阪倉良孝、栗田 豊、岡田 茂、大久保範聰、平井俊朗、生田和正、
河村功一、益田玲爾、足立真佐雄、荒川 修

5 出席監事

（Web 会議システムによる出席）

佐藤秀一、良永知義（第 1 号議案審議中 13 時 08 分着席）、野澤知世

6 出席幹事

（Web 会議システムによる出席）

高橋希元（第 2 号議案審議中 13 時 10 分着席）、山本洋嗣、森田哲朗、
寺原 猛

7 オブザーバー

（Web 会議システムによる出席）

木村 稔（会長指名理事候補者）、古川史也（会長指名理事候補者）、マ
ーシー・ワイルダー（会長指名理事候補者）、小池一彦（令和 7 年度秋
季大会委員長、第 2 号議案終了後 13 時 11 分退席）、富山 肇（令和 7
年度秋季大会総務、第 2 号議案終了後 13 時 11 分退席）、塩出大輔（次
期総務幹事）、長澤一衛（次期庶務幹事）、池田大介（次期庶務幹事、
第 1 号議案前 13 時 02 分退席）

8 議 案

決議事項

- | | |
|---------|-------------------------|
| 第 1 号議案 | 「令和 7 年度秋季大会業務委託業者」の件 |
| 第 2 号議案 | 「令和 7 年度秋季大会募金目論見書」の件 |
| 第 3 号議案 | 「名誉会員 岡市友利先生の追悼文」の件 |
| 第 4 号議案 | 「入会承認」の件 |
| 第 5 号議案 | 「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件 |

報告事項

- ① 第 1 回理事会以降の職務遂行の状況
- ② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

（1）定足数の確認等

東海会長が定足数の充足及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより、出席者の音声、映像が同時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款第 29 条に基づき、東海会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「令和 7 年度秋季大会業務委託業者」の件

足立中国・四国支部担当理事から本案の提案があり、令和 7 年度秋季大会小池委員長と富山同大会総務担当に詳細の説明が求められた。小池委員長から次期秋季大会開催に関する挨拶があり、富山総務担当より詳細の説明があった。審議の結果、田岡コンベンション・システム㈱に令和 7 年度秋季大会の業務を委託することを出席理事全員一致で可決した。

第 2 号議案 「令和 7 年度秋季大会募金目論見書」の件

足立中国・四国支部担当理事から本案の提案があり、令和 7 年度秋季大会富山総務担当から、詳細について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 3 号議案 「名誉会員 岡市友利先生の追悼文」の件

東海会長から、名誉会員岡市友利先生の追悼文に関する説明があった。審議の結果、本学会の和文誌および英文誌に掲載することを出席理事全員一致で可決した。追悼文の内容の詳細については、中国・四国支部の足立理事が最終確認することとした。

第 4 号議案 「入会承認」の件

吉崎総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

第 5 号議案 「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件

吉崎総務担当理事から、原案の説明があった。

同議案について、次の質疑応答があった。

生田理事「正会員が大学などに社会人入学した場合の手続きであり、卒業、修了した後には正会員に戻るのか？」

東海会長「その通りである。この制度では、申請者に在籍照明書の提出を求めており、毎年、申請を行う必要がある。」

吉崎理事「本案の該当者も昨年度に引き続き今年度も申請があったものである。」審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

(報告事項)

- ① 第 1 回理事会以降の職務執行状況
 - ・会長

東海会長から、以下の報告があった。

- 1) 大船渡林野火災の被害状況について聞き取り調査に基づく被害状況の情報共有のために、聞き取りを行った栗田理事に説明が求められた。栗田理事から被災地および関係各所の要望等に関する説明があり、現時点では研究活動に関する具体的な要望等は寄せられていないことが報告された。
- 2) 水産・海洋科学研究連絡協議会について、特段の報告事項はなかった。
- 3) 令和7年4月5日に開催された日本農学大会において、日本農学賞授賞式があり、本学会が推薦した益田理事の受賞講演があったことが報告された。

・庶務関係

吉崎担当理事から、以下の報告があった。

- 1) 会費が未納であった下記の資格喪失者について、事務手続きの不備が原因であることが判明したため、正会員としての資格は継続されることとなったことが報告された。なお、当該会員の会員番号は継続されて情報は喪失されていないことが確認された。併せて、同様の不備が再発しないよう、対応策を求める旨が確認された。

森阪匡通（正会員、令和6年度資格喪失）

- 2) 以下の協賛及び後援について、共催、協賛、後援の取り扱い申し合わせ3)を適用した。

① 第25回マリンバイオテクノロジー学会大会

主催 マリンバイオテクノロジー学会

協賛 化学工学会 他24団体

日程 令和7年5月24日・25日

場所 ビューポートくれ（広島県呉市）

希望 協賛

負担金 なし

② 食品ハイドロコロイドセミナー2025

主催 食品ハイドロコロイド研究会

協賛 化学工学会 他17学協会

日程 令和7年6月20日

場所 京都大学宇治キャンパス生存圏研究所木質材料実験棟（木質ホール）
(京都府宇治市)

希望 協賛

負担金 なし

③ 第36回食品ハイドロコロイドシンポジウム

主催 食品ハイドロコロイド研究会

協賛 化学工学会 他17学協会

日程 令和7年6月21日

場所 京都大学宇治キャンパス生存圏研究所木質材料実験棟（木質ホール）2

希望 協賛

負担金 なし

④ 第39回日本キッチン・キトサン学会大会

主催 日本キチン・キトサン学会
協賛 キトサン工業会 他 13 学協会
日程 令和 7 年 9 月 9 日・10 日
場所 東北学院大学五橋キャンパス（宮城県仙台市）
希望 協賛
負担金 なし

⑤ 第 44 回「海とさかな」自由研究・作品コンクール

主催 朝日新聞社、朝日学生新聞社
後援 文部科学省 他 4 団体
希望 後援
負担金 なし

・企画広報関係

片山担当理事、特になし。

・財務関係

河村（知）担当理事、特になし。

・編集関係

岡田担当理事から、別紙 2 の通り、日本水産学会誌・*Fisheries Science* の即時オープンアクセス対応について、対応方針に関する周知文書が作成されたことが報告された。日本水産学会誌については J-Stage で即時公開しているため問題がないが、*Fisheries Science* 誌には Springer との契約上でエンバーゴの規定があり、1 年間は公開できないという制約が存在する。これについては、資金配分機関の実績報告書にその旨を記載し、エンバーゴ期間終了後に速やかにリポジトリ等で公開することで対応が完了することが報告された。

・学会賞関係

益田担当理事、特になし。

・シンポジウム関係

征矢野担当理事から、令和 7 年度秋季大会においては 1 件のミニシンポジウムのみが提出されている状況であり、特に地方で開催される大会においては、シンポジウム数をどのように増加させるかを協議する必要がある旨が報告された。また、シンポジウム企画の立案方法について、シンポジウム企画委員会において議論がなされ、「8 ヶ月以上前に企画を提出する」という規定を削除することが決定され、今後理事会でお諮りいただきたい旨が報告された。

・出版関係

吉崎担当理事、特になし。

・水産技術誌監修関係

河村（知）担当理事、特になし。

・国際交流関係

大久保担当理事から、別紙 3 の通り、令和 7 年日本水産学会春季大会期間中に SDGs セッションが開催され、イギリス諸島水産学会から副会長および博士課程の大学院生、韓国水産科学会から会長と副会長がゲストとして参加し、会員交歓会にも出席したことが報告された。3 日間で 31 演題、基調講演 3 演題が

発表されたが、期間中には遅刻などがあり進行に影響が出たため、会場運営には手厚いサポート体制が必要であることが報告された。また、東海会長より、5月7日から9日に開催される韓国水産科学会主催のシンポジウムについては益田理事が、8月10日から14日のアメリカ水産学会については大越副会長が出席する旨が報告された。7月7日から11日に開催されるイギリス諸島水産学会主催のシンポジウムについては、出席者を検討中であることが報告された。

・水産教育関係

荒川担当理事より、令和7年度第1回水産教育推進委員会が、春季大会開催中にハイブリッド形式で行われ、令和6年度の事業報告、決算報告、及び令和7年度の事業計画・予算案について議論されたことが報告された。また、その後予定されていた全国水産高等学校校長会との勉強会は、参加予定者が出席できなかつたため中止となったことが報告された。さらに、春季大会開催中に「人口減少社会における海洋水産に関する教育の課題と展望」というテーマでシンポジウムが行われたことが報告された。

・水産政策関係

栗田担当理事から、令和7年度第1回水産政策委員会が春季大会開催中にメール会議形式で開催され、令和6年度の活動報告と予算、及び令和7年度の活動計画と予算案が承認されたことが報告された。

・漁業・資源管理関係

栗田担当理事から、令和7年度第1回水産政策委員会が春季大会開催中に対面形式で開催され、令和6年度の活動報告と予算、令和7年度の活動計画と予算案が承認されたことが報告された。予算管理については、ネットバンキングを利用する方向で話が進んでいることが報告された。また、懇親会報の内容に関する著作権の扱いについて、本内容を他の雑誌等にそのまま掲載することはできない旨の注意喚起がなされたことが報告された。さらに、春季大会開催中にスルメイカに関するシンポジウムが開催され、研究者、漁業者、加工業者、水産庁等からの参加者による活発な意見交換が行われたことが報告された。

・水産利用関係

岡田担当理事から、今年度第1回の講演会について、テーマは「ゲノム編集技術：水産物の現状および安全性」であることが報告された。演者として、京都大学の木下政人先生と広島大学の堀内浩幸先生に依頼が済んでおり、日程は6月後半から7月中旬に東京海洋大学を会場に開催する予定であることが報告された。

・水産増殖関係

阪倉担当理事から、令和7年度第1回水産増殖懇話会委員会が春季大会開催中に対面形式で開催され、昨年度の事業報告および今年度の計画について審議が行われたことが報告された。また、秋季大会の懇談会については現在計画中であり、決まり次第公表する予定であることが報告された。また春季大会開催中に、「我が国魚類養殖における諸問題：マリンエコロジーラベル飼料認証との関係を中心に」と題したシンポジウムが開催されたことが報告された。このシンポジウムには、マリンエコラベル団体や飼料関係の専門家、消費者団体が参

加し、多くの参加者を集め、活発な議論が行われたことが報告された。

・水圏環境関係

大越担当理事から、令和7年度第1回水産環境保全委員会が春季大会開催中に開催され、今年度の活動について議論が行われたことが報告された。シンポジウムなどについては現在調整中であり、確定次第再度報告する予定であることが報告された。また、春季大会開催中に「水圏におけるマイクロプラスチックの汚染と生物に及ぼす影響と将来」と題したシンポジウムが開催されたことが報告された。

・男女共同参画関係

大越担当理事、特になし。

・水産学若手の会関係

大久保担当理事から、令和7年度第1回水産学会若手の会委員会が春季大会開催中に対面形式で開催され、今年度の人員配置や過去の若手の会主催のイベントに関する予後調査（本学会大会に無料招待した学生がその後本学会に入会しているか、修士課程等大学院に進学しているか等）の実施が検討されたことが報告された。春季大会期間中には、学部生無料化イベントが開催され、53名が登録し、実際に44名が参加したことが報告された。また、「水産科学のクロスカルチャラルな実践」と題したシンポジウムが行われ、55名の参加者があり、異文化環境下での研究活動に伴う魅力や課題、新しいコラボレーションの可能性について活発な議論がなされたことが報告された。さらに、ナイトポスターセッションも開催され、80名の参加者と24件のポスターが展示され、盛況に行われたことが報告された。

・社会連携関係

東海会長より、特になし。

平井理事より、大船渡林野火災に関連して、復興に際して林学などと協調して学界として取り組むことの必要性について発言があった。

・将来計画関係

征矢野担当理事、特になし。

・北海道支部、地域連携関係

東海会長、特になし。

・東北支部、地域連携関係

平井担当理事から、新年度に入り、支部の庶務幹事が交代したことが報告された。また、今年度の支部活動計画として、10月に福島県いわき市で支部大会を開催する方向で進められており、福島県水産海洋研究センターが準備を担当していることが報告された。なお、支部の庶務幹事交代については、会長に委嘱される形となっているため、学会事務局にご報告をいただけるよう東海会長から依頼があった。

・関東支部、地域連携関係

生田担当理事、特になし。

・中部支部、地域連携関係

河村（功）担当理事、特になし。

- ・近畿支部、地域連携関係

益田担当理事から、近畿支部では、6月29日に支部例会を開催する予定で、現在準備を進めていることが報告された。

- ・中国・四国支部、地域連携関係

足立担当理事から、今年の秋季大会は広島大学で開催される予定であり、中国・四国支部としても協力することが報告された。

- ・九州支部、地域連携関係

荒川担当理事から、本年度の支部大会例会の日程および内容の検討が開始されたことが報告された。

- ・英文書籍監修委員会（特別委員会）

阪倉担当理事から、魚介類の人工飼育における形態異常に関する企画について、4月10日付でメール審議に付議されたことが報告された。また、吉崎理事から、本審議については4月18日付で承認済みであることが報告された。

- ・財務検討委員会（特別委員会）

河村（知）担当理事 特になし

- ・FS誌OA検討委員会（特別委員会）

岡田担当理事 特になし

- ・法人体制見直し委員会（特別委員会）

東海会長から、当委員会については副会長である征矢野先生に取りまとめをお願いしたい旨の依頼があった。吉崎理事より、法人体制見直しに関して、臨時総会で7月19日に議題として上がる予定であり、補足説明資料が本学会ホームページに掲載されていることが報告された。さらに、代議員制導入に関しては、春季大会開催中に説明会が行われ、代議員制導入の背景、概要、メリット、課題、今後の進め方のスケジュール案について説明が行われたことが報告された。また、現在、説明会資料は水産学会のホームページから閲覧可能であり、質問や意見を受け付けていることも報告された。

② その他確認事項

(1) 令和7年度定時社員総会資料の確認

吉崎総務担当理事及び河村財務担当理事から、令和7年度定時社員総会資料の説明があり、令和6年度事業報告並びに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、さらには令和7年度事業計画並びに予算に関する資料を出席理事全員で確認した。

(2) 委任状及び議決権行使書の回収状況について

東海会長から、令和7年度定時社員総会の委任状及び議決権行使書の提出状況について現状が報告され、総会成立に向けて理事に対して協力依頼があった。

(3) 次回の理事会について

吉崎総務担当理事より、次回の理事会は令和7年5月8日（木）17時からの令和7年度定時社員総会終了後にWeb会議システムにて開催するとの説明があった。

(4) 令和7年度理事会開催日程について

東海会長から、理事会開催日程の説明があった。

(5) 幹事の交代について

新任および退任する幹事からの挨拶があった。

以上をもって Web 会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、15 時 45 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和 7 年 4 月 19 日

公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監事

監事

監事